

日米関係の現状と今後の課題

—ジョンストーンCSISジャパン・チェアを招きオンライン会合を開催—

2022年7月28日

講師：クリストファー・ジョンストーン

戦略国際問題研究所(CSIS) 上席顧問兼ジャパン・チェア

経済広報センターは7月28日、米国の戦略国際問題研究所(CSIS)のクリストファー・ジョンストーン上席顧問兼ジャパン・チェアを招き、「日米関係の現状、課題と日本への期待」と題するオンライン会合を開催した。企業の幹部ら約150人が参加した。

2022年5月まで、米国の国家安全保障会議(NSC)東アジア担当部長を務めていたジョンストーン氏は、冒頭、岸田文雄内閣総理大臣は強いリーダーシップを発揮していると述べ、日本が、ロシアのウクライナ侵攻に際してG7やEU諸国と歩調を合わせ強い態度を取ったことは、欧米諸国以外からの協力を引き出すことにもつながり、米国政府から好感を得たと説明した。また、現在の日米関係は極めて良好であり、牛肉問題、新型コロナウイルスの水際対策といった摩擦の要因はあるが、関係に水を差すほどの影響はないと指摘した。5月の日米首脳会議において、日米協力のあり方に焦点が当てられ、素晴らしい共同声明が発出されたことからそれがうかがえると述べた。

同氏はまた、今後日米両国は、良好な関係を基礎に協調して国際的課題に取り組んでいくとの見方を示した。米国政府は、日本に対して、中国や北朝鮮への対応、日米韓3カ国間の協力などの問題への対処に加え、防衛予算の増加と反撃・迎撃能力獲得による防衛力強化、半導体など重要技術における経済安全保障分野での連携強化などを強く期待していると述べた。また、インド太平洋経済枠組み(IPEF)において、日本は最重要パートナーであり、米国と共に内容を考え、各国の参加を促し協力を引き出すといったことなどで、これまでと変わらず支援してほしいと述べた。

以 上

一般財団法人

経済広報センター

国際広報部

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館19階

電話：03-6741-0031

<https://www.kkc.or.jp/>

<https://en.kkc.or.jp/>

※本稿の無断転載を禁じます。